



TOCO-TON 明科



No. 37 R8. 9. 16 発行

TOCO-TON 指導主事

竹内 幸浩

1 明北小3・4年合同体育『マット運動』 8月後半～9月前半（6時間）

＜毎時間、授業のはじめは、技につながる基となる動きの練習＞



＜発表する技など、様々な技にチャレンジ＞



＜発表会＞ 9月8日（火）



6年担任（体育科）は、4年の体育を受け持っています。今回は、6年担任が、3・4年担任に投げかけ、マット運動の単元を合同で行うことになりました。

少人数である明北小は、複数学年が合同で授業を行うよさがあります。主として、短時間で、多くの場づくりの準備・片付けができますし、学年を問わず、子ども同士が見合ってアドバイスしたり、振り返りをし合ったりすることで、よい動きへの気づきが増えました。

単元の最後に行った発表会では、3年から4年へ、4年から3年へ、声援や温かい拍手を送る姿が見られました。子どもたちは、次ページの児童の言葉にあるような「合同で学ぶよさ」を感じながら、仲良く意欲的に取り組んでいます。

『はつらつと取り組んだ 4年生とのマット運動』 ～3学年だよりから～

先々週末から、6年生担任の指導の下で、体育の時間に4年生と一緒にマット運動に取り組んできました。初めは、ちょっとドキドキしていた子もいたようですが、すぐに慣れて、はつらつと活動することができました。準備や片付けも2～3分で、何も言わなくても自然と駆け足でやっていました。大変集中して、ポイントを考えながら体を動かす経験ができました。3年生は開脚前転や開脚後転を中心に、4年生は、側転や倒立、さらには倒立前転やロンダートに挑戦する子もいました。開脚技は、足をしっかり開いてできるだけ膝を伸ばすように練習しました。今週8日（火）には、発表会をしました。3つの技を選んで、どの子も自分ができる精一杯の発表ができました。

「4年生と学習してよかったこと」を、子どもたちに聞きました。①4年生の技を見ることができ、来年への目標が持てた。②4年生と仲良くなることができた。③準備片付けなど、協力することができた。④4年生にアドバイスをもらったり、見合ったりすることができた。とのことで、4年生についていくのは一生懸命でしたが、得るものがとても多くありました。運動会でも、ダンスを一緒に踊ります。今回の経験が生かされ、さらに素敵な姿を見せてくれると思います。楽しみです！

2 第3回 明科地域学校協働本部連絡会(会場:明科公民館)8月31日(月)



＜地域から届いた声＞

● 伝統の味「おやき」を次世代へ

地元の粉食文化を伝えるため、9月7日(月)と10月5日(月)に明科の生徒たちを対象とした「おやき作り体験」が実施される。地域の伝統の味と温もりを、子どもたちの心と体に受け継いでいく。

● 自然の豊かさと厳しさを学ぶ

8月3日(月)に公民館共催で行われた「ふるさと探検隊」では、水産試験場見学や竹の工作、地域の方が作ってくれた美味しいカレーやスイカをみんなで囲み、世代を超えた楽しい時間を共有した。一方で、9月に予定していた山探検は、野外体験の難しさを実感する一幕もあった。今後は安全第一で、明科の自然を学ぶ工夫を凝らしていく。

● 子どもたちの心のSOSを地域で受け止めるために

安曇野市が実施したヤングケアラーの調査報告が共有された。民生児童委員からは「困っている家庭や子どもたちの変化に気づいたら、どんな些細なことでも相談してほしい。秘密は厳守し、専門のサポート機関へ繋ぎ、誰一人取り残さない地域をつくっていきたい。」とのお話があった。

● 子どもたちの生き生きとした姿を

学校の活動の様子や、コミュニティスクールのパネル展示が、安曇野市役所本庁舎1階にて展示されている。子どもたちが地域の方々と田植えをしたり、将棋を教わったりして、生き生きと活動する素晴らしい写真が飾られているので、ぜひご覧いただきたい。

● 地域の未来をよくする

子どもたちが、地域の人に関わってもらい『自分は愛されている』と実感できること。それこそが地域の未来をよくする最高の力になる。